

第44回

相模 ささら踊り 大会

令和4年7月27日(水)

開演 午後1時30分

厚木市荻野運動公園体育館
メインアリーナ (住所：厚木市中荻野1500)

入場無料

室内履きをご持参ください。
新型コロナウイルス感染症の影響により
中止となる場合があります。

出演団体 (出演順)

海老名ささら踊り保存会 (海老名市)

秦野ささら踊り保存会 (秦野市)

綾瀬ささら踊り保存会 (綾瀬市)

葛原芸能保存会 (藤沢市)

(特別出演) 相模国飯山白龍太鼓保存会 (厚木市)

愛甲ささら踊り盆唄保存会 (厚木市)

遠藤民俗芸能保存会 (藤沢市)

足柄ささら踊り保存会 (南足柄市)

長谷ささら踊り盆唄保存会 (厚木市)

主催 相模ささら踊り連合会・厚木市教育委員会

共催 神奈川県民俗芸能保存協会

後援 神奈川県教育委員会

問い合わせ 厚木市教育委員会文化財保護課

電話 046-225-2509 FAX046-223-0086

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

ささら踊り

旧相模国内には、ビンササラ・小太鼓を打ち鳴らす、盆踊り・盆唄と称する女性だけの踊りが広く分布していました。江戸時代に流行した小町踊り・七夕踊りに由来するもので、現在では「ささら踊り」、「ささら盆踊り」と名付けられています。しかし、盆踊り禁止令や関東大震災の影響を受けて大正時代に一度途絶えました。



過去の大会の様子 ▲

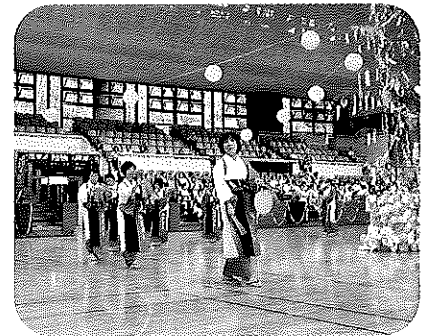
昭和29年(1954)、現在の南足柄市域の婦人会有志により「足柄ささら踊り」が復活し、昭和42年(1967)に県指定の文化財、昭和50年(1975)に文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択されました。

その後、5市7地区でも復活し保存会が結成され、昭和51年(1976)にこれら保存会により「相模ささら踊り連合会」が結成されました。以来、「相模ささら踊り大会」が開催されるようになり、今年で44回目を迎えました。平成20年(2008)には、「足柄ささら踊り」とあわせて旧武蔵国との関わりや旧相模国地域におけるお盆の芸能の伝播の実態を探り、各地域の特色を知る上で貴重な資料であるとして「相模のささら踊り」の名称で神奈川県が無形民俗文化財に指定されました。



▲ ビンササラ

歌詞は七七調を基調とする長詞型と七七七五調の短詞型があり、長詞型には中世の風流を彷彿とさせる表現がみられ、曲節の基調に一致したリズムが認められます。舞踊は揃いの浴衣に帯を締めた襷掛けの少女を中心とした女性だけが参加するもので、ビンササラをならし、小太鼓を打つという他の盆踊りとは異なった特徴があります。また、2本の扇を持つ扇踊り、時流の踊りを取り入れた手拭踊り、さらには、浴衣の長い袂を翻す「袂踊り」や「蝶々とんぼ」・「おっちょこちょいのちょい」という明治期の少女の童技を取り入れた踊りもあります。



過去の大会の様子 ▲

神奈川県教育委員会 1982『神奈川県民俗芸能誌・民謡編』から引用・改編

厚木市荻野運動公園 交通案内

本厚木駅北口1番線乗り場

- ・ 蔦尾団地行き(公所経由)
- ・ まつかげ台行き
- ・ 上荻野車庫行き
- ・ 半原行き

「稲荷木」下車 徒歩約10分

住所：厚木市中荻野 1500

